

## 妊婦のインフルエンザ予防に関する疫学調査 ご協力をお願い

大阪産婦人科医会会長 高木 哲  
厚生労働省研究班代表 廣田 良夫  
(大阪市立大学公衆衛生学教授)

欧米では、妊娠中の女性はインフルエンザに感染すると重症化する危険性が高いことが報告されています。一方、医療制度が異なる日本においても、同様の健康影響があるかどうかは、未だ明らかではありません。

そこで、大阪産婦人科医会は、厚生労働省の研究班と共同で、妊娠中の方を対象に、インフルエンザの健康影響について、アンケート調査を行うことといたしました。

ご協力いただきたいことは、以下の2点です。

### － ご協力いただきたい内容 －

① 合計2回の「アンケート調査」にお答えください。

1回目： 本日、ご回答いただき、提出してください。

2回目： 来年の5月頃に、お渡しします。

出産後の方には、ご自宅にアンケートをお送りします\*。

② 今回の妊娠経過について、診療情報を参考にさせていただきます。

\*アンケートの送付は、データセンター（株・メディサイエンスプランニング）が実施します。

### 〈 協力の自由 について 〉

- ・ 調査への参加は自由であり、調査に参加されなくても、診療を受ける上で不利益になることは一切ありません。
- ・ ご協力の取り止めをご希望の場合は、アンケート記入・提出後であっても、下記の連絡先までご連絡ください。情報を速やかに消去いたします。

### 〈 調査の実施 と 個人情報の保護 について 〉

- ・ この調査は、大阪産婦人科医会と厚生労働省の研究班が協力して行っています。
- ・ この調査は、大阪市立大学医学部の倫理委員会の承認を得ています。また、(株)メディサイエンスプランニングでは個人情報保護方針を規定し、個人情報保護に関する体制整備を徹底しております。
- ・ ご提供いただいた情報は、データセンターおよび大阪市立大学にて管理いたしますが、プライバシー保護のため、個人が特定できないような単なる数字の情報に変換して厳重に管理いたします。
- ・ 調査の結果を公表する場合にも、個人名が出ることは絶対にありません。

---

医学的事項に関するお問い合わせ先： 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3  
大阪市立大学大学院医学研究科・産婦人科学（電話：06-6645-3862）  
調査全般に関するお問い合わせ先： 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3  
大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学（電話：06-6645-3756）